

スキャンツール**応用研修** のご案内



『コンピュータ・システム診断認定店』申請に必要な要件である『スキャンツール**応用研修**』を下記により実施します。

受講希望者は、8月23日（金）までにFAXにてお申し込みください。あわせて、認定店の申請も受け付けますので、必要事項を記入してください。

※『コンピュータシステム診断認定店』制度に関する詳しい内容は、裏面に載っておりますので、そちらをご確認ください。

日時・場所	令和元年9月10日（火）9時～17時 整備振興会付属実習場		
内 容	座学：スキャンツールの機能、エンジン電子制御装置の仕組み、点検方法 実習：スキャンツールを活用しての故障診断		
受講資格 重要	継続的に整備主任者実技研修を受講している者、 又は、スキャンツール基本研修を受講した者		
研 修 料	4,000円（資料代、昼食込み）	定 員	20名（先着順）
そ の 他	すでにコンピュータ・システム診断認定店に認定済み事業場であって、本研修を他の者も受けさせたいという場合も受講可能です		

スキャンツール**応用研修** 受講申込書

事業場名	受講者名
FAX() -	

コンピュータ・システム診断認定店 申請書

保有スキャンツール (ディーラー専用のもも可)	メーカー	機種名
機能 (対応するものに○を記入)	DTC読み取り、消去 ・ 作業サポート データモニタ ・ フリーズフレームデータ アクティブテスト	
FAINES (ファイネス) 加入	している ・ していない	
認定ツール ※後日請求させていただきます (購入するものに○を記入。複数選択可)	卓上盾 ・ 看板 ・ のぼり ・ 竿	

申込締め切り 8月23日（金）まで FAX番号 0157-24-4549

認定ツール販売価格（税込）

・ 卓上盾 3,086 円



18×24 cm

・ 看板 4,680 円



60×50 cm

・ のぼり 2,057 円
（2枚1組、竿別売）
・ 竿 864 円（2本1組）



60×180 cm

『コンピュータ・システム診断認定店』制度

【 目的 】

この制度は、国土交通省「自動車整備技術の高度化検討会」に基づき、スキャンツール（外部診断機）を活用して整備作業、診断作業の効率化を図るとともに、自動車の電子制御装置の機能診断が実施できる整備事業場を認定することにより、ユーザーの信頼を獲得（アピール）することを目的としています。制度の運用、管理は(社)日本自動車整備振興会連合会が行い、当振興会がスキャンツール活用研修等を実施します。

【 認定要件 】

整備振興会会員で、次に掲げる①～④の要件を全て充足している事業場に対して認定する。

- ① スキャンツール応用研修修了者又は一級自動車整備士が1人以上勤務していること。
- ② スキャンツールを保有していること。ただし、J-OBディ対応、DTC読み取り・消去、作業サポート、データモニタ、フリーズフレームデータ、アクティブテスト等の機能を有するもの。（ディーラー専用のもも可）
- ③ FAINES（ファイネス）に加入していること。
- ④ 認定ツール『卓上盾』、『看板』、『のぼり』の内、1つ以上を購入すること。

【 スキャンツール活用研修 】

- ① 基本研修（整備主任者実技研修を継続的に受講している者は基本研修を免除）
 - ・ スキャンツールの一般的な知識、技能の習得を主たる内容とする。
 - ・ 研修対象者：原則として三級自動車整備士以上で、主にスキャンツールの未経験者
- ② 応用研修
 - ・ 基本研修のステップアップを図る研修とし、診断整備技術の習得を主たる内容とする。
 - ・ 研修対象者：基本研修修了者、又は、基本研修免除者

【 認定の流れ 】

